

―運転免許証を返還すると移動手段がなくなるので不安。小型バスでもいいので、御前崎の海岸線を通り、市役所や病院に行けるようなバスを運行してもらえないか。

↓現在は自主運行バスや地域協働バスの運行支援を実施しています。また、福祉政策として福祉タクシー券を交付しております。ご提案いただいたバスの小型化やルート変更については、タクシー業界への圧迫なども考慮し、引き続き市の重要課題として検討してまいります。

―今後、高齢者の運転免許証返納者は増える。2人乗りの電気自動車を個人で購入してもらうとともに、市内の道路に磁気の帯を埋設し、磁気レーンを走行するようにすればどうか。

↓2人乗り電気自動車での走行は、道路交通法などの規制や道路改良などの課題がありますので、先進地の事例や専門家のご意見をいただきながら、慎重に検討してまいります。

―牧之原台地南部に老人のための施設を誘致したらどうか。

↓高齢者福祉施設や介護保険関連施設には、さまざまな形態の施設があります。今後市内で事業を展開する社会福祉法人などの意向を伺ってみたいと思います。

―病院の医師の説明に怒りと強い不満を持った。赴いた病院の環境、状

況に合わせるで、それらを十分にいかし医療貢献に身を尽くしていただきたい。

↓大変申し訳ありませんでした。病院職員は、院内の研修会を通じて、資質向上や意識改革などに取り組んでおります。しかしながら、医師については、多忙により研修会への参加が困難な状況にあります。今後は、医師の働き方改革への取り組みとともに、資質向上、意識改革に取り組めるよう努めてまいります。

―高齢者は、多くの悩みや相談ごとを抱え、解決に困っていると予想される。高齢者が気軽に相談できる高齢者の相談室を設置したらどうか。

↓高齢者の相談は、「地域包括支援センター」でお受けしています。同センターは、市役所西館1階に「地域包括支援センターはまおか」、御前崎支所2階に「地域包括支援センターおまえざき」という名称で設置しています。令和元年度には、来所・電話・訪問・メールなど、延べ4474件の相談を受け付けました。介護保険の利用、認知症、生活支援、高齢者虐待、成年後見人など、どんなことでもお気軽に相談ください。

―手話言語の普及になるような手話学習会やイベントなどを実施すればどうか。

↓市が主催し手話奉仕員養成講座、初心者向け手話学習会を毎年開催し

ております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として中止しましたが、来年度は状況に応じて開催する予定です。また、市社会福祉協議会が行う「ふれあい広場」などのイベントを活用し、更なる普及を図ってまいります。

―高齢者は免許更新時に色々な検査や講習がある。浜岡自動車学校へ連絡したが、来年の3月まで予約で埋まっていた。菊川自動車学校は、菊川市の人のみ受け入れるとのこと。最後に掛川自動車学校が引き受けてくれた。高齢者が多い昨今、行政も絡んで策を考えていただきたい。

↓近年の高齢者による自動車事故の増加を考えると、運転免許証更新時における検査・講習は非常に重要であると考えます。浜岡自動車学校に確認したところ、新型コロナウイルスへの対策として人数を抑えて講習などを実施しているうえ、繁忙期で予約が取りにくい状況だったとのことでした。今年については、特別な事情ですので、ご理解をいただきましたと思います。

### ▼市内の環境

―海岸にゴミが散乱している。ボランティアを募って、海岸清掃を呼びかけたらどうか。

↓海岸清掃をされているボランティア団体に対して、環境課で出来る範

囲で協力させていただいています。また、支援対象については、現在協議しています。

―箴川近くのドーム型の建物から漂う悪臭に耐えられない。調査や改善指導してほしい。

↓臭気については、事業者に聴き取り改善をお願いしています。付近の住民にもご協力いただき、臭気調査などを実施していますが、問題の解決に至っていません。今後も事業者に対する監視を続け、改善を要求していきます。

―御前崎の観光資源である海岸を市長や議員、市職員、市民みんなで清掃したらどうか？

↓市では、海岸への漂着物の除去作業を毎年実施しておりますが、全てのごみを取り切れていないのが現状です。海岸清掃について関係各課と調整し協議していきます。

―ゴミの捨て方が分からない。気軽に質問できるシステムを提案する。

↓電話での問い合わせのほか、ホームページなどでも検索ができるようにしています。1月からは市の公式LINEアカウントでもごみの分別方法を確認できるようになります。

―市内にある砂や砂利の採取業者は長年砂や砂利を売り、その深く掘った跡を産業廃棄物で埋め立ててい